

令和5年度 消防本部の重点課題

部長名 浪指 孝章

<全体方針>

立入検査の実施や住宅用火災警報器の普及啓発などにより火災予防意識を高めます。また、多発化・激甚化する災害に対応できるよう、耐震性防火水槽などの消防施設及び車両を含めた資機材等装備の充実を図りながら、高度化・専門化する消防業務を遂行できる消防職員及び消防団員の育成を重点的に進めるとともに、消防団との連携強化を図り、地域の総合的な防災力向上を目指します。

<課ごとの指導方針>

**総務課**

適切な予算編成や予算執行及び決算、また消防行政財産の適切な管理を行います。

消防に求められる活動に見合う装備を整備するなど消防職員及び消防団員の安全確保に取り組みます。

多発化・激甚化する災害に対応できるよう、消防職員及び消防団員に対して効果的な教養、訓練を実施するとともに、定住自立圏での広域化及び消防の連携・協力についての検討会を開催するなど消防力の強化に向け協議を進めます。

**予防課**

違反対象物公表制度に伴い重大違反対象物の違反是正を行います。査察体制強化の職員育成を行います。

住宅用火災警報器の設置率が低いため、職員の訪問で設置率の向上を目指します。

**防災課**

車両更新計画に基づき、多様化した災害に応じた消防車両の配備を行います。

救急車の適正利用について、広く市民に対して啓発活動を行います。

耐震性貯水槽の設置を継続して行います。

令和5年度 各課の重点的取組

課名 (連携が必要な部署)	重点課題	課題解決に向けた 具体的方策	成果目標	総合計画
総務課 (各課、各署)	★高度な災害対応能力 を持った職員の育成 【重点プロジェクト】	●若手職員の育成を強化 するとともに、階層別研 修を充実させる。また、 救急救命士の養成に加 え、消防職員に専門知 識を習得させるため、救 命士研修所及び消防大 学校・県消防学校へ入 校させるなど、専門知識 に関する研修を充実さ	消防大学校 1名 県消防学校 初任教育 2名 専科教育 17名 特別教育 14名 救急救命士養成 1名 指導救命士養成	No.28

	<p>★地域防災力の強化 【重点プロジェクト】</p> <p>★消防の広域化</p>	<p>せる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●消防団活動について社会的理解を深めるためイベントなどに赴き消防団の存在意義や役割、やりがいや処遇等が伝わる広報活動を展開することで加入の促進を図る。</li> <li>●古い消防屯所及び機械器具置場の更新</li> <li>●訓練塔及び資機材保管庫の建設。</li> <li>●定住自立圏で広域化についての検討会を開催するなど広域化に向けて協議を進める。</li> </ul>	<p>1名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○定員698名の充足</li> <li>○第5分団(金倉)屯所及び第12分団(田井)機械器具置場の建設</li> <li>○訓練塔及び資機材保管庫建設の着工</li> <li>○定住自立圏消防間協議を開催し、広域化に向けた意見交換の実施</li> </ul>	<p>No.28</p> <p>12-①</p>
<p>予防課 (各署)</p>	<p>★重大違反对象物の改善</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●防火対象物の実態把握に努めるとともに、消防用設備未設置対象物及び点検未報告対象物を重点に指導を行う。</li> <li>●重大違反对象物に対する指導及び改善を行う。</li> <li>●危険物施設等の維持管理の指導を行う。</li> </ul>	<p>防火対象物年間 300 件</p> <p>危険物施設年間 100 件</p>	<p>12-②</p>
	<p>★住宅用火災警報器の設置、点検、維持管理の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●住宅用火災警報器の未設置世帯への指導を行う。</li> </ul>	<p>職員が訪問して未設置世帯に設置を促し、設置世帯には保守点検の</p>	<p>No.28</p>

	<b>【重点プロジェクト】</b>	なお、設置世帯に対しては、定期的な作動確認、適切な本体交換の指導を行う。	指導を行う。また高齢者非課税世帯に対し給付を行っていく。	
防災課	★消防車両の更新を図り、防災力強化を推進 <b>【重点プロジェクト】</b>	●更新年数や配備先の災害対応等を考慮し、計画的に車両配備を行う。	○消防署 2台 消防団 5台	No28
	★救急車の適正利用の推進 <b>【重点プロジェクト】</b>	●関係機関へのポスター等の掲示及び中讃テレビやSNSを活用した啓発活動を行う。	○緊急性のない軽症傷病者搬送件数の抑制	No28
	★耐震性貯水槽の設置 <b>【重点プロジェクト】</b>	●地域条件を考慮しながら設置を行う。	○新設3基	No28
	★応急手当普及啓発の推進 <b>【重点プロジェクト】</b>	●バイスタンダーが行うAEDと応急手当の重要性を理解させる。	○講習会受講者数 1,500名	No28